

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0380/503020/05/06		事業の種類		4	
年度	19	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		レクリエーションスポーツ振興事業、レクリエーションスポーツ振興競技大会			担当部課名	体育振興課		
政策名		愛着と生きがいを育むまちづくり						
施策名		スポーツ・レクリエーション			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者や障害者など誰でもが、自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク、スポーツフェスティバルの実施				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	あそぼうる	回	6	6	7	6
	ターゲットバードゴルフ	回	8	8	9	8
	グラウンドゴルフ	回	6	5	6	6
	ペタンク	回	3	2	3	3

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.084	101.2	0.081	96.4	
	主幹以下職員	0.750	0.750	100.0	0.500	66.7	0.500	100.0	
	臨時職員	0.250	0.250	100.0	0.100	40.0	0.100	100.0	
支出内 訳	人件費	8,218,480	7,792,917	94.8	5,335,561	68.5	5,270,791	98.8	
	事業費	6,451,550	4,052,820	62.8	4,490,000	110.8	4,400,000	98.0	
	合計	14,670,030	11,845,737	80.7	9,825,561	82.9	9,670,791	98.4	
財源内 訳	国庫支出金			－		－		－	
	県支出金			－		－		－	
	市債			－		－		－	
	その他			－		－		－	
	一般財源	14,670,030	11,845,737	80.7	9,825,561	82.9	9,670,791	98.4	
	合計	14,670,030	11,845,737	80.7	9,825,561	82.9	9,670,791	98.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク、スポーツフェスティバル							
指標説明(式)		実施事業数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	23	23	100.0	23	100.0	23	100.0	
	実績	23	23	100.0	25	108.7			
指標名2									
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	7,000	3,500	50.0	7,500	214.3	7,500	100.0	
	実績	7,326	3,047	41.6	7,921	260.0			

【効率性】

指標名1		当該事業総コスト							
指標説明(式)		レクリエーション事業費総事業費÷事業参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	881	1,330	151.0	567	42.6	587	103.5	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	市民ニーズ	高齢化が進むなかで、高齢者が参加しやすいグラウンドゴルフ、ペタンク大会の実施。	4	4
	目的の妥当性	高齢化比率が高まるなか、高齢者のスポーツニーズを的確につかみ、要求に応じて提供していく。		
有効性	市民サービス	市民の関心の高い種目を中心に、多様な機会を提供し実施できている。	5	5
	成果目標(改善)達成度	全体としては計画どおりに事業は実施できた。		
効率性	コストの節減	事業当りのコストは削減している。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市域の人口の減少や高齢化の伸張により、目的達成のための事業展開の手法、手段については、いろいろ研究の必要がある。

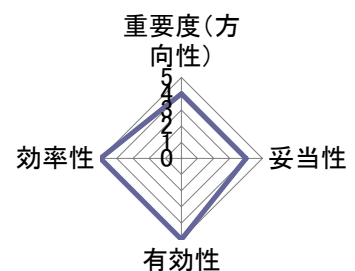
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	参加料の見直し、効率化を図る。
H19→H20予算反映額		△ 90,000

(2) 20年度の実施方針

コスト縮減を図りつつ、基本的には前年度と同様な事業展開を考えている。



検討の有無	—
総合指標	24